



No.287

昼食時、隣の男性2人の話題は、お子さんの大学進学についてでした。センター試験が終わって入試シーズンが本格化、受験生を持つ家庭ではその合否が気になりますが、小さな子供を持つ親にとっては将来の教育資金も心配です。文部科学省が2年ごとに調査している「平成26年度子

幼稚園から高校まで15年間の学習費

「すべて公立」でも 523万円かかる

供の学習費調査」によると、幼稚園3歳から高校3年までの15年間について、各学年の「学習費総額」を単純合計すると、「すべて公立」の場合でも523万円となっています。「幼稚園だけ私立」の場合は609万円、「高等学校だけ私立」の場合は約700万円で、「すべて私立」の場合では1,770万円にもなり

ます。なお、「すべて公立」と「すべて私立」の差は約3.38倍となっています。

大学・短大への進学率は50%を超えており、その際には受験費用、入学金、学費、生活費がかかり、自宅外通学だと仕送りも必要です。

子供の夢の実現のためにも、早めの資金準備が必要です。

幼稚園3歳から高等学校第3学年までの15年間の学習費総額

文部科学省「平成26年度子供の学習費調査」

区分		学習費総額				合計
		幼稚園	小学校	中学校	高校	
ケース1	すべて公立					5,230,911円 (公→公→公→公)
ケース2	幼稚園だけ私立	634,881円	1,924,383円	1,444,824円	1,226,823円	6,088,853円 (私→公→公→公)
ケース3	高校だけ私立	(公立)	(公立)	(公立)	(公立)	6,977,880円 (公→公→公→私)
ケース4	幼稚園および高校が私立	1,492,823円	9,215,345円	4,017,303円	2,973,792円	7,835,822円 (私→公→公→私)
ケース5	小学校だけ公立	(私立)	(私立)	(私立)	(私立)	10,408,301円 (私→公→私→私)
ケース6	すべて私立					17,699,263円 (私→私→私→私)

(注)金額は、各学年の平成26年度の平均額の単純合計。

この調査は、「保護者調査」と「学校調査」の2種類で構成されており、それぞれの調査費用の範囲は次のとおり。

(1)保護者調査

① 学校教育費：保護者が、子供に学校教育を受けさせるために支出した経費（通学費を含む）。ただし、学校調査で調査される経費を除く。

例)学用品費、体育用品費、楽器等購入費、実験実習材料費、クラブ活動費、通学費など

② 学校外活動費：保護者が、子供の学校外活動のために支出した経費。

③ 世帯の年間収入：世帯全体の1年間収入（税込み）。

(2)学校調査

① 学校教育費：保護者が、子供の教育のために、学校及び学校教育関係団体に納付あるいは寄附した経費。

例)授業料、保育料、入学金、修学旅行費など

② 学校給食費：幼稚園・小学校・中学校において、保護者が給食費として学校に納付した経費。

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20

神谷町MTビル